

**東部地域大学連携
 東区委託事業シンポジウム
 超高齢・長寿社会を支える
 “地域力”を考える
 ～福岡市東区のケース～
 多世代で支えあう街づくりを目指して**

東部地域大学連携が、福岡市東区の委託を受けて今年度より取り組んでいる「超高齢社会に向けた地域力の向上」をテーマとする調査・研究活動。そのキックオフとして、3大学の教員、地域住民ならびに行政関係者によるシンポジウムを3月11日（土）13時より九州産業大学で開催しました。本学からは社会環境学科の松藤賢二郎准教授が、“地域力を支える人材の現状と課題”と題して、昨年12月に東区の4校区で実施した関係者へのインタビュー結果を交えて講演。来場者の熱い注目を集めました。当日は一般の方、大学関係者、行政関係者など、定員を上回る184名が参加。若者が多いと言われる福岡市においても高齢化が急速に進むなか、大学には「地域コミュニティ」の維持に向けた連携、協力がこれまで以上に求められています。

（大学地域連携推進室）



- ◇写真上段 シンポジウム講演者(左より)：
 九州産業大学経済学部 益村真知子教授
 福岡工業大学社会環境学部 松藤賢二郎准教授
 福岡女子大学国際文理学部 野依智子教授
- ◇写真中段：パネルディスカッションの様子
- ◇写真下段左 コメンテーター：
 福岡女子大学国際文理学部教授 庄山茂子教授
 福岡市東区役所地域支援課 堤清貴課長
- ◇写真下段右 閉会挨拶：
 福岡工業大学学生部長 上寺康司教授

この件のお問い合わせは広報課

揭示期間 H-28-320
 3月15日～31日